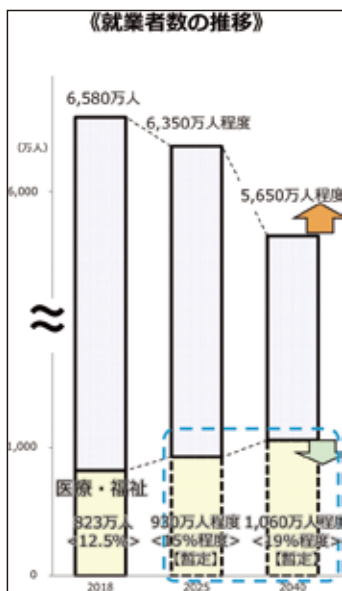




江崎 貴大 議員
無会派

問 弥富市の未来像は

答 市民の声を聴き共に創っていく



▲厚生労働省の資料より

問 20年後の本市が目指すべき姿は。

答 (市長) 「デジタル社会と暮らしやすさの調和のとれた弥富市」など3つの未来像。

問 高齢者人口がピークを迎える2040年代初頭への対策は。

答 生涯現役で活躍できる社会を目指す。

問 生産人口が減少する2040年代初頭への対策は。

答 AIやロボティクスの力を借りて、持続的なサービスを提供する。

問 二十歳の集いでの意見交換会で、どのような声を聴いたか。政策への反映は。

答 (教育部長) コロナ禍で時間がつくれなかった。実行委員会と意見交換会を予定。

問 市長の描く4年後の弥富市の目指すべき姿は。

答 (市長) 市民の声をしっかりと聴き、共に創る。

問 令和5年度当初予算案での進捗状況は。

答 公約とした7つの取組みの内で、すぐにスタートできる5つは当初予算案に計上。

問 進捗管理はどのようにするのか。

答 主要事業に位置付け、成果指標で管理。

問 避難行動要支援者の避難行動は、どの程度登録が進んでいるか。

答 (健康福祉部長) 2022人が登録。

問 透析患者の発災時の行動は。

答 身の安全を確保し、近隣避難所へ避難。

問 災害時において、市民が透析できる拠点病院はどこか。

答 海南病院と津島市民病院。

問 拠点病院における、災害時の受け入れ、電気通信の供給状況、水の確保等はどうか。

答 運営体制8項目、施設及び整備12項目の要件を満たすことが必要。

問 避難所での医療的措置が必要な人への対応は。

答 (総務部長) 必要に応じて医療対応できる病院へ搬送する。

問 透析患者が透析する手段の確保は。

答 まずは自身で通院施設と連絡し、困難な場合は、災害対策本部で対応。

問 避難所から透析治療のできる病院への移動方法はあるか。

答 家族等が移送。不可なら災害対策本部が搬送方法を協議、検討。

問 広域避難をするための協定等事前の準備状況は。

答 令和3年1月、日進市の愛知学院大学と「浸水時における広域避難に関する協定」を締結。

問 令和5年度当初予算案に計上している医療・福祉の増額は、どのような事業に充てられるのか。

答 医療・福祉の増額は、高齢者福祉、子育て支援、障害者支援、生活支援などに充てられる。

問 令和5年度当初予算案に計上している医療・福祉の増額は、どのような事業に充てられるのか。

答 医療・福祉の増額は、高齢者福祉、子育て支援、障害者支援、生活支援などに充てられる。



▲愛知学院大学への広域避難訓練